

2014年5月

TG/238/1 Corr. 2008-04-09 + 2009-01-20 に準拠

茶種

Tea

(*Camellia sinensis* (L.) Kuntze)

茶種審査基準

I. 審査基準の対象 (Subject of these Guidelines)

この審査基準は、ツバキ科 (Theaceae) ツバキ属 (*Camellia* L.) のチャ種 (*C. sinensis* (L.) Kuntze) 及びその交雑種 (チャ節を含む。) の全ての品種に適用する。

II. 提出種苗 (Material Required)

- i) 種苗の形態 1 年生発根苗
- ii) 提出時期 審査当局が指定する時期
- iii) 数量 20 個体
- iv) 提出する種苗は、重要な病害虫に汚染されていない十分に健全なものであること。
- v) 提出種苗は審査当局が指示した場合を除き薬剤、その他の処理をしていないものであること。もし、処理が行われている場合はその処理の詳細について記載すること。

III. 試験の実施 (Conduct of Tests)

- i) 栽培条件 特性の確認が十分にできる正常な生育が可能な条件下で実施する。
- ii) 最低供試個体数 11 個体以上
- iii) 栽培期間 1 生育周期
- iv) 調査方法

調査個体数 特に指示がない限り、植物体 10 個体又は各個体から採取した部分 10 個とする。

均一性は供試した全ての個体で判定する。

調査時期等 特に指示がない限り、少なくとも定植後 2 年経過した個体で調査する。摘採期の茶芽の芽数については、成木について調査する。

特性表の調査方法欄に記載された(a)~(c)の記号の詳細は、以下のとおりである。

(a) 若枝に関する形質は、その年の最初のほう芽期に調査する。

(b) 葉身に関する形質は、夏あるいは秋に十分生育した当年枝の中央部に着生する十分に展開した葉で調査する。

(c) 花に関する形質は、開花期の完全に開いた花で調査する。

v) 標準品種の地域区分

地域区分	対象地域	関係研究機関
山間冷涼地	関東・甲信越及びその他各地の山間部	埼玉県農林総合研究センター茶業研究所
温暖地	東海・近畿・東中国地方	静岡県農林技術研究所茶業研究センター
覆下茶	近畿・北九州地方	京都府農林水産技術センター茶業研究所
暖地	九州・四国・西中国地方	独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構野菜茶業研究所枕崎茶業研究拠点

- vi) 特別な試験 特別な条件下でのみ発現する特性があり、出願者が申告し、方法等が十分に提示され、審査当局が合意した場合は特別な栽培試験を実施することがある。

IV. 判定基準 (Standards for Decisions)

判定は、登録出願品種審査要領の区別性、均一性及び安定性 (DUS) 審査のための一般基準に基づくものとする。

供試個体数が 11 の場合、許容される異型個体数は 1 である。

V. グループ分けに使用する形質 (Grouping of Varieties)

- i) 樹型 (形質 2)
- ii) 樹姿 (形質 3)
- iii) 葉身の長さ (形質 17)
- iv) 花の直径 (形質 31)

VI. 特性表で使用する記号の説明 (Legend)

G : グループ分けに使用する形質

(*) : 品種記載の国際調和のための必須調査形質

QL : 質的形質

QN : 量的形質

PQ : 擬似の質的形質

(+) : VIII に特性表の説明図等を示す

MG : 植物体あるいは植物体の一部を集団として測定記録

MS : 植物体あるいは植物体の一部の個々の測定記録

VG : 植物体あるいは植物体の一部を集団として観察記録

VS : 植物体あるいは植物体の一部の個々の観察記録

網掛け (特性表のピンク色の部分) : 願書に添付する説明書 (種苗法施行規則第 7 条、別記様式第 2 号) に出願者が記載する特性及び階級値

状態区分

質的形質及び擬似の質的形質の場合、すべての状態が特性表に記載してある。しかし、5 階級以上の状態がある量的形質の場合、省略した状態が用いられることがある。例えば、9 階級の状態による量的形質の場合、審査基準の状態は、以下のとおりに略されることがある。

状態 (State)		階級 (Note)
(日本語)	(English)	
小	small	3
中	medium	5
大	large	7

しかし、以下の9階級の状態を品種の記述として使用できるが、その場合には適切に使用するよう留意する。

状態 (State)		階級 (Note)
(日本語)	(English)	
極小	very small	1
かなり小	very small to small	2
小	small	3
やや小	small to medium	4
中	medium	5
やや大	medium to large	6
大	large	7
かなり大	large to very large	8
極大	very large	9

VII. 特性表 (Table of Characteristics)

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex. Var.)				備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)	山間 冷涼地	温暖地	覆下	暖地	
1	1	QN (* (+)	樹勢	Plant: vigor	定植2年後の樹勢の強さ	観察 VG	1 2 3 4 5 6 7 8 9	極弱 かなり弱 弱 やや弱 中 やや強 強 かなり強 極強	very weak very weak to weak weak weak to medium medium medium to strong strong strong to very strong very strong	やぶきた さやまかおり	やぶきた おくみどり めいりよく	やぶきた	あさつゆ やぶきた おくみどり べにふうき	
2	2	QN (* (+) G	樹型	Plant: type	定植2年後の夏から秋にかけての樹型	観察 VG	1 3 5	灌木性 やや高木性 高木性	shrub semi-arbor arbor					
3	3	QN (* (+) G	樹姿	Plant: growth habit	主茎に対する側枝の伸びる向き	観察 VG	1 2 3 4 5	直立 直立～半直立 半直立 半直立～開張 開張	upright upright to semi upright semi upright semi upright to spreading spreading	やぶきた おくみどり かなやみどり	やぶきた おくみどり かなやみどり	やぶきた	やぶきた おくみどり かなやみどり	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex. Var.)				備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)	山間 冷涼地	温暖地	覆下	暖地	
4	4	QN	分枝の粗密	Plant: density of branches	分枝の粗密	観察 VG	3 5 7	粗 中 密	sparse medium dense	やぶきた	やぶきた	やぶきた	やぶきた	
5	5	QL (+)	枝の屈曲の有無	Branch: zigzagging	枝の屈曲の有無	観察 VG	1 9	無 有	absent present					
6		QN	ほう芽期 (一番茶)	Time of sprouting (70% of the plants show sprouts)	一番茶の70%の個体がほう芽期に達した日	測定 月日 MS (a)	3 5 7	早 中 晩	early medium late	さやまかおり やぶきた ほくめい	さえみどり やぶきた おくみどり	さえみどり やぶきた ごこう	さえみどり やぶきた おくみどり	
7	6	QN (*)	一心一葉始期	Young shoot: time of beginning of 'one and a bud' stage	一番茶の30%の個体が一心一葉期に達した日	測定 月日 MS (a)	3 5 7	早 中 晩	early medium late	やぶきた	やぶきた		やぶきた	
8		PQ (+)	一心三葉期の第三葉の色	Young shoot: color of the third leaf at 'three and a bud' stage	一番茶芽の一心三葉期における第三葉の色	観察 VG (a)	1 2 3 4 5 6 7	白 黄緑 淡緑 緑 濃緑 紫緑 紫	whitish yellow green light green medium green dark green purple green purple	やぶきた さやまかおり	やぶきた ふうしゅん	やぶきた	べにひかり べにふうき やぶきた かなやみどり サンルージュ	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex. Var.)				備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)	山間 冷涼地	温暖地	覆下	暖地	
9	8	QL (*)	新芽の毛じの有無	Young shoot: pubescence of bud	一心三葉期の新芽の毛じの着生の有無	観察 VG (a)	1 9	無 有	absent present					
10	9	QN	新芽の毛じの粗密	Young shoot: density pubescence of bud	一心三葉期の新芽の毛じの粗密	観察 VG (a)	3 5 7	粗 中 密	sparse medium dense	やぶきた	やぶきた	やぶきた	やぶきた	
11	10	QL (+)	新芽の葉柄基部のアントシアニン着色の有無	Young shoot: anthocyanin coloration at base of the petiole	一心三葉期の葉柄の付け根のアントシアニン着色の有無	観察 VG (a)	1 9	無 有	absent present					
12	11	QN (*)	一心三葉期の新芽長	Young shoot: length of 'three and a bud'	一心三葉期の新芽の長さ	測定 cm MS (a)	3 5 7	短 中 長	short medium long	やぶきた	やぶきた	やぶきた	やぶきた	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex. Var.)				備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)	山間 冷涼地	温暖地	覆下	暖地	
13		QN	摘採期（一番茶）	Time of plucking	新芽の開葉数が平均3枚以上に達した日を目安とする	測定 月日 MS (a)	1 2 3 4 5 6 7 8 9	極早 かなり早 早 やや早 中 やや晩 晩 かなり晩 極晩	very early very early to early early early to medium medium medium to late late late to very late late	さやまかおり さやまかおり やぶきた やぶきた ほくめい	さやまかおり さやまかおり やぶきた やぶきた おくみどり	やぶきた やぶきた やぶきた	やぶきた やぶきた おくみどり	さえみどり
14		QN	摘採期の茶芽の芽数	Young shoot: number of buds at plucking time	摘採前にわくを置いて測定、摘採面より上で2葉以上着いた新芽の数、覆下は一定枝条長当たり（30 cm×30 cm当たりの芽数、1区2カ所）	測定 MS	3 5 7	少 中 多	few medium many	やぶきた	やぶきた	やぶきた	やぶきた	
15		QN	枝条の太さ	Shoot: thickness	一番茶芽硬化枝条の中央部の太さ	測定 mm MS	3 5 7	細 中 太	thin medium thick	やぶきた	やぶきた	やぶきた	やぶきた	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex. Var.)				備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)	山間 冷涼地	温暖地	覆下	暖地	
16	12	QN (* (+)	葉の着生角度	Leaf: attitude	十分生育した当年枝の中央部に展開した葉身の向き	観察 VG (b)	1	上向き	upwards	さやまかおり	さやまかおり	さやまかおり	さやまかおり	
							2	上向き～水平	upwards to outwards					
							3	水平	outwards	やぶきた	やぶきた	やぶきた	やぶきた	
							4	水平～下向き	outwards to downwards					
							5	下向き	downwards					
17	13	QN (* G	葉身の長さ	Leaf blade: length	成葉の長さ	測定 cm MS (b)	3	短	short					
							5	中	medium	やぶきた	やぶきた		やぶきた	
							7	長	long					
18	14	QN (*	葉身の幅	Leaf blade: width	成葉の最大部の幅	測定 cm MS (b)	3	狭	narrow					
							5	中	medium	やぶきた	やぶきた			
							7	広	broad				やぶきた	
19	15	QN (+)	葉身の形	Leaf blade: shape	成葉の形	観察 VG (b)	1	極狭楕円形	very narrow elliptic					
							2	狭楕円形	narrow elliptic	やぶきた	やぶきた	やぶきた	やぶきた	
							3	楕円形	medium elliptic	ほくめい	あさつゆ		あさつゆ	
							4	広楕円形	broad elliptic					
20	16	QN (+)	葉身の緑色の濃淡	Leaf blade: intensity of green color	成葉の緑色の濃さ	観察 VG (b)	3	淡	light					
							5	中	medium	やぶきた	やぶきた	やぶきた	やぶきた	
							7	濃	dark					

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex. Var.)				備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)	山間 冷涼地	温暖地	覆下	暖地	
21	17	QN (+)	葉身の横断面の形	Leaf blade: shape in cross section	成葉中央部の横断面の形	観察 VG (b)	1	二つ折り内曲	folded upwards					
							2	平	flat	やぶきた	やぶきた	やぶきた	やぶきた	
							3	外曲	recurved					
22	18	QN	葉身の表面のしわの強弱	Leaf blade: texture of upper surface	成葉表面のしわの強弱	観察 VG (b)	1	平滑又は弱	smooth or weakly rugose					
							2	中	moderately rugose	やぶきた	やぶきた	やぶきた	やぶきた	
							3	強	strongly rugose					
23	19	PQ (+)	葉身の先端の形	Leaf blade: shape of apex	成葉の先端の形	観察 VG (b)	1	鈍形	obtuse					
							2	鋭形	acute	やぶきた	やぶきた		やぶきた	
							3	鋭尖形	acuminate					
24	20	QN (+)	葉の周縁部の波打ちの強弱	Leaf blade: undulation of margin	成葉の周縁部の波打ちの強弱	観察 VG (b)	1	無又は弱	absent or weak	やぶきた	やぶきた	やぶきた	やぶきた	
							2	中	medium	さやまかおり	さやまかおり		さやまかおり	
							3	強	strong					
25	21	QN (+)	葉の周縁部の鋸歯の強弱	Leaf blade: serration of margin	成葉の周縁部の鋸歯の強弱	観察 VG (b)	3	弱	weak					
							5	中	medium	やぶきた	やぶきた		やぶきた	
							7	強	strong					
26	22	PQ (+)	葉身の基部の形	Leaf blade: shape of base	成葉葉身の基部の形	観察 VG (b)	1	鋭形	acute					
							2	鈍形	obtuse					
							3	切形	truncate					
27	23	QN	開花期	Flower: time of full flowering	樹全体の50%の花が開花した日	測定 月日 MG	3	早	early					
							5	中	medium	やぶきた	やぶきた		やぶきた	
							7	晩	late					

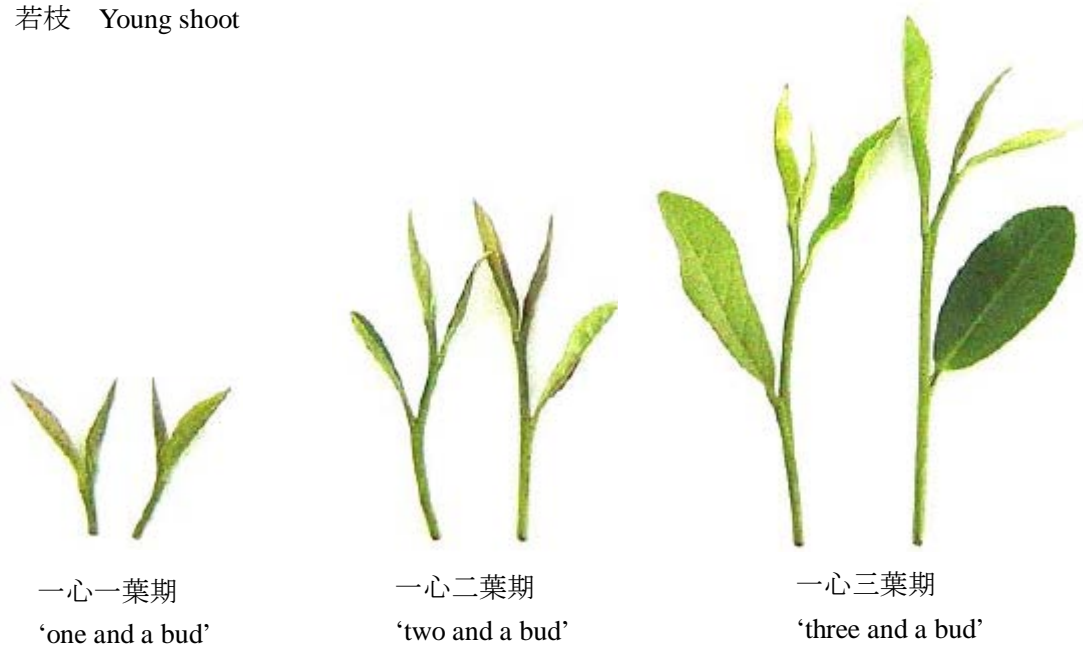
形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex. Var.)				備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)	山間 冷涼地	温暖地	覆下	暖地	
28	24	QN	花柄の長さ	Flower: length of pedicel	花柄の長さ	測定 mm MS (c)	3 5 7	短 中 長	short medium long	やぶきた	やぶきた		やぶきた	
29	25	QL (*)	がくの外面の毛じの有無	Flower: pubescence on outer side of sepal	がくの外面に着生する毛じの有無	観察 VG (c)	1 9	無 有	absent present					
30	26	QL (*)	がくの外面のアントシアニン着色の有無	Flower: anthocyanin coloration on sepal on outer side	がくの外面のアントシアニンの着色の有無	観察 VG (c)	1 9	無 有	absent present					
31	27	QN (*) G	花の直径	Flower: diameter	花の最大径	測定 cm MS (c)	3 5 7	小 中 大	small medium large	やぶきた	やぶきた		やぶきた	
32	28	PQ (+)	内花弁の色	Flower: color of inner petals	内花弁の内面の色	観察 VG (c)	1 2 3	緑 白 桃	greenish white pink					
33	29	QL (*)	子房の毛じの有無	Flower: pubescence of ovary	子房表面の毛じの有無	観察 VG (c)	1 9	無 有	absent present					

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex. Var.)				備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)	山間 冷涼地	温暖地	覆下	暖地	
34	30	QN	子房の毛じの粗密	Flower: density of pubescence of ovary	子房表面の毛じの粗密	観察 VG (c)	3 5 7	粗 中 密	sparse medium dense					
35	31	QN	花柱の長さ	Flower: length of style	満開時の花柱の長さ	観察 VG (c)	3 5 7	短 中 長	short medium long	やぶきた	やぶきた		やぶきた	
36	32	QN (+)	花柱の分岐点の位置	Flower: position of style splitting	花柱が分岐する位置の高さ	観察 VG (c)	1 2 3 4 5 6 7 8 9	極低 かなり低 低 やや低 中 やや高 高 かなり高 極高	very low very low to low low low to medium medium medium to high high high to very high very high	やぶきた	やぶきた		やぶきた	
37	33	QN (* (+)	雄ずいに対する柱頭の位置	Flower: position of stigma relative to stamens	雄ずいに対する柱頭の相対的位置関係	観察 VG (c)	1 3 5	下位 同位 上位	below same level above	やぶきた	やぶきた		やぶきた	

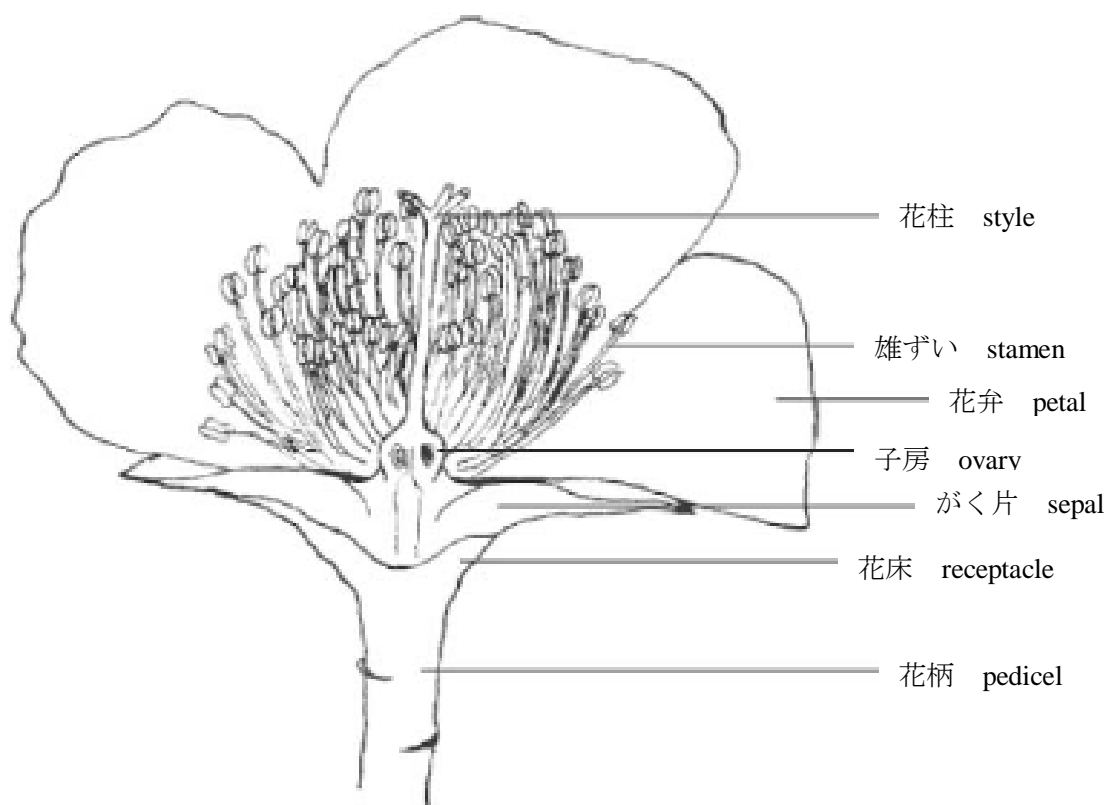
形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex. Var.)				備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)	山間 冷涼地	温暖地	覆下	暖地	
38	34	QN (+)	発酵性	Fermentation ability	新芽の発酵性	測定 MG	1 2 3 4 5 6 7 8 9	極弱 かなり弱 弱 やや弱 中 やや強 強 かなり強 極強	very weak very weak to weak weak weak to medium medium medium to strong strong strong to very strong very strong					
										やぶきた	やぶきた	やぶきた	やぶきた	
										べにひかり	べにひかり		べにひかり	
											べにふうき		べにふうき	
39	35	QN (+)	カフェイン 含量	Caffeine content	一番茶新芽中の カフェイン含量	測定 MG	1 2 3 4 5	無又は極低 低 中 高 極高	absent or very low low medium high very high					
										やぶきた	やぶきた	やぶきた	やぶきた	
											べにふうき		べにふうき	

VIII. 特性表の説明 (Explanations on the Table of Characteristics)

若枝 Young shoot



花 Flower

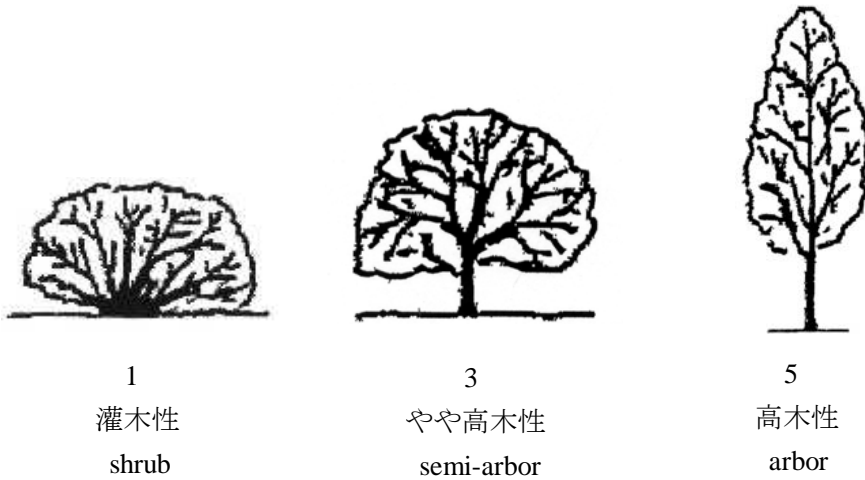


形質 1 樹勢 Char.1 Plant: vigor

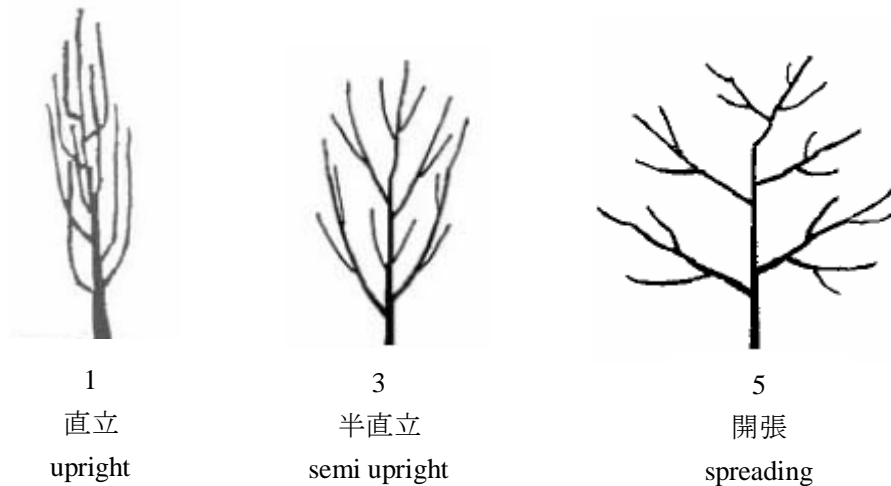
樹勢は栄養生長期を通じて全体的な量で判断する。

The vigor of the plant should be considered as the overall abundance of vegetative growth.

形質 2 樹型 Char.2 Plant: type



形質 3 樹姿 Char.3 Plant: growth habit



形質 5 枝の屈曲の有無 Char.5 Branch: zigzagging



1
無
absent

9
有
present

形質 8 一心三葉期の第三葉の色

Char.8 Young shoot: color of the third leaf at 'three and a bud' stage



1
白
whitish

2
黄緑
yellow green

3
淡緑
light green

4
緑
medium green

6
紫緑
purple green

7
紫
purple

形質 11 新芽の葉柄基部のアントシアニン着色の有無

Char.11 Young shoot: anthocyanin coloration at base of the petiole



1
無
absent

9
有
present

形質 16 葉の着生角度

Char.16 Leaf: attitude



1
上向き
upwards

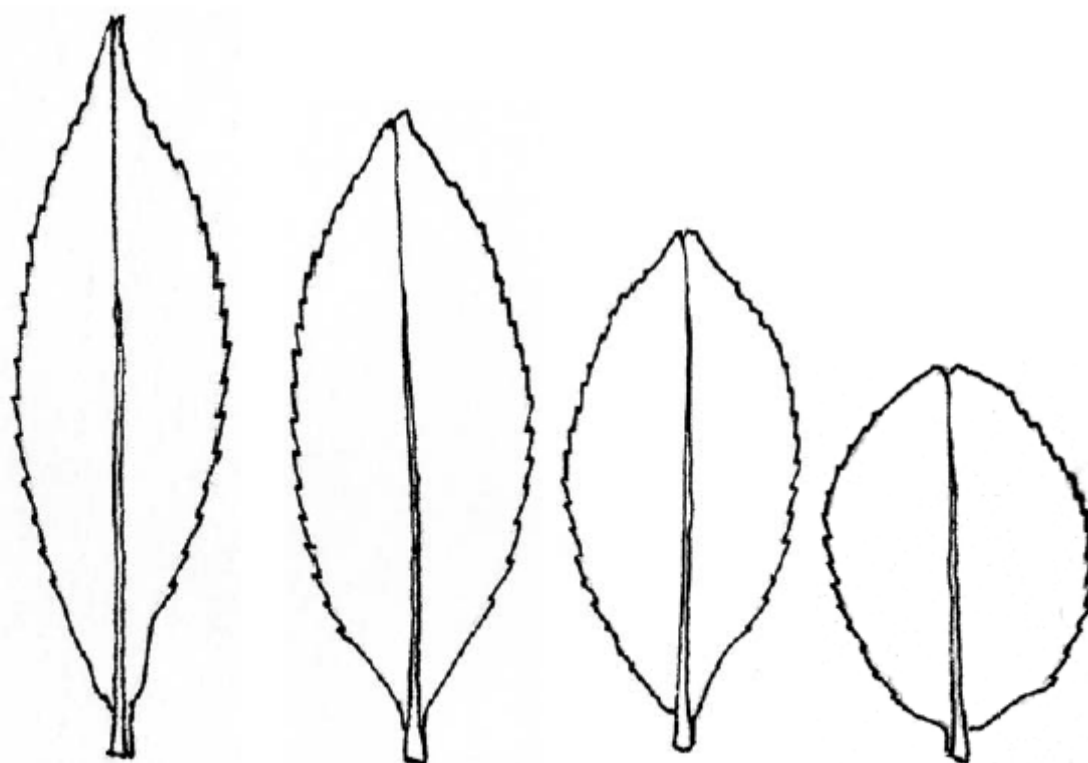


3
水平
outwards



5
下向き
downwards

形質 19 葉身の形 Char.19 Leaf blade: shape



1
極狭楕円形
very narrow elliptic

2
狭楕円形
narrow elliptic

3
楕円形
medium elliptic

4
広楕円形
broad elliptic

形質 20 葉身の緑色の濃淡

Char.20 Leaf blade: intensity of green color



1
極淡
very light

3
淡
light

5
中
medium

7
濃
dark

形質 21 葉身の横断面の形

Char.21 Leaf blade: shape in cross section



1
二つ折り内曲
folded upwards

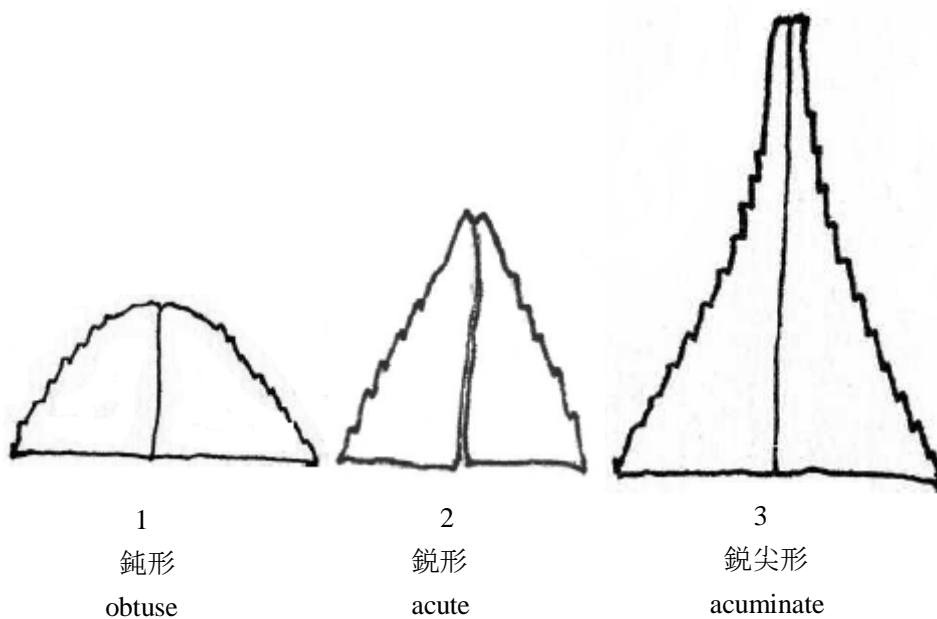


2
平
flat

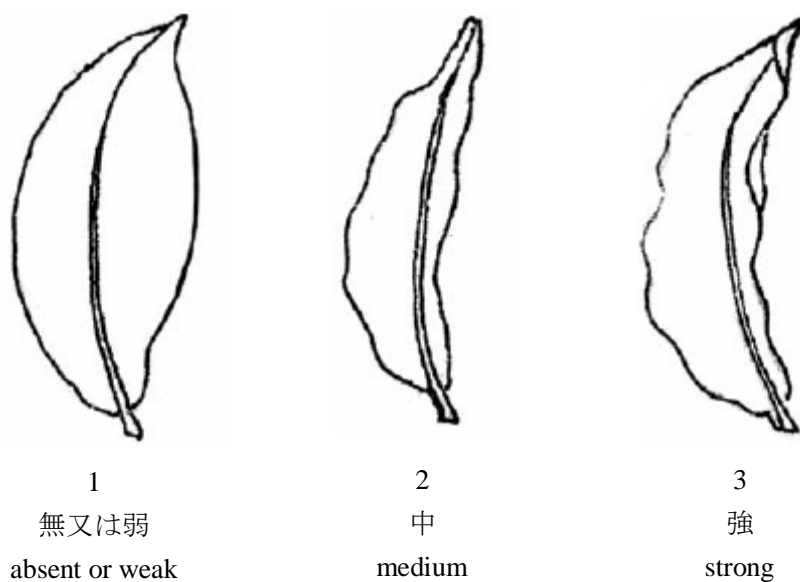


3
外曲
recurved

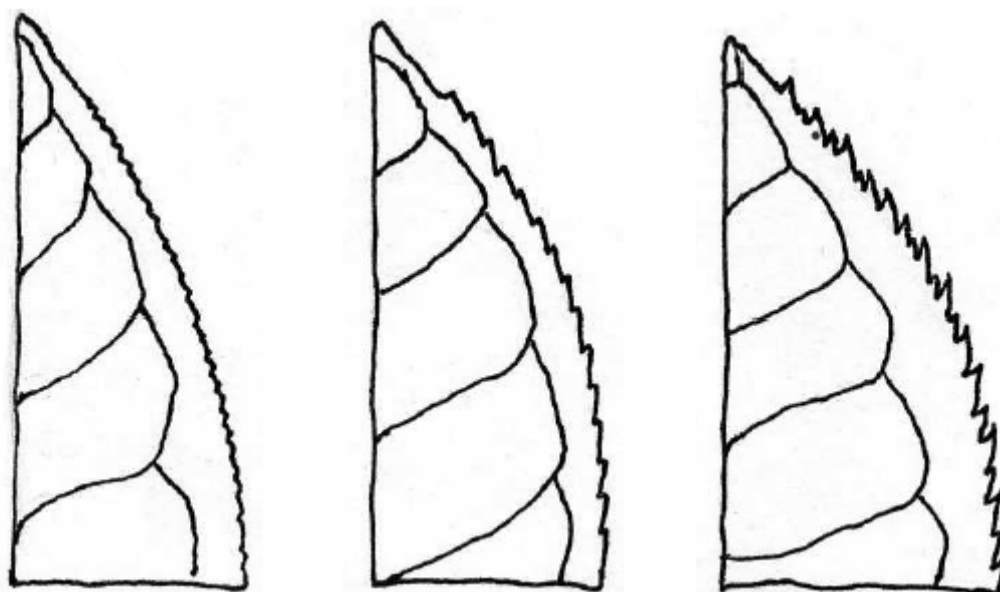
形質 23 葉身の先端の形 Char.23 Leaf blade: shape of apex



形質 24 葉の周縁部の波打ちの強弱 Char.24 Leaf blade: undulation of margin



形質 25 葉の周縁部の鋸歯の強弱 Char.25 Leaf blade: serration of margin

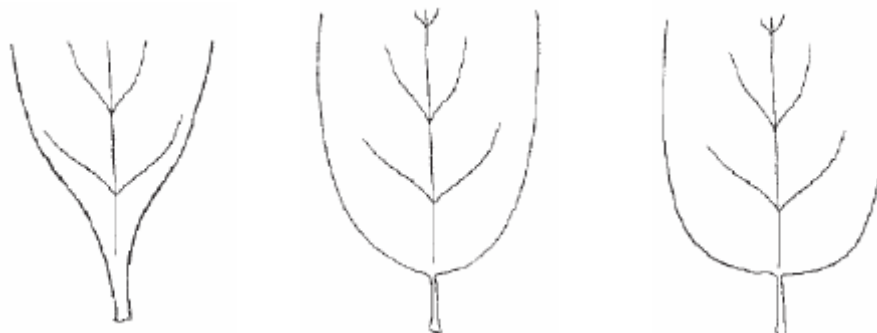


3
弱
weak

5
中
medium

7
強
strong

形質 26 葉身の基部の形 Char.26 Leaf blade: shape of base



1
鋭形
acute

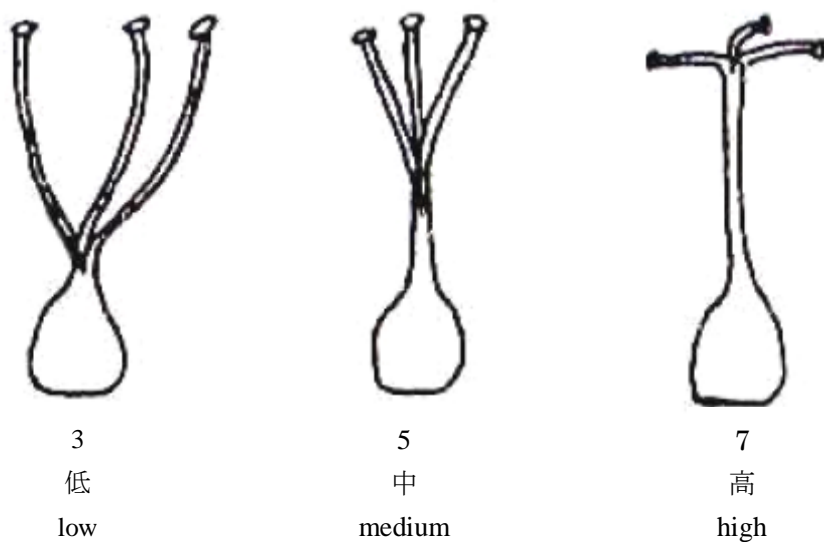
2
鈍形
obtuse

3
切形
truncate

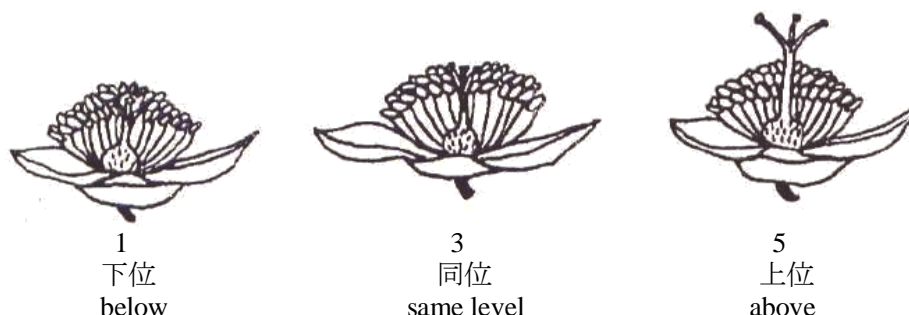
形質 32 内花卉の色 Char.32 Flower: color of inner petals



形質 36 花柱の分岐点の位置 Char.36 Flower: position of style splitting



形質 37 雄ずいに対する柱頭の位置 Char.37 Flower: position of stigma relative to stamens



形質 38 発酵性 Char.38 Fermentation ability

3～5葉期の新葉を採取し、密閉できる容器内でクロロホルムが直接接触しないようにしてクロロホルム蒸気に1時間程度さらし、赤銅色に変化する葉色の程度を観察する。色の変化の観察は必ず基準品種との比較で行う。

基準品種：やぶきた (3 弱)

Evaluation of fermentation ability should be made using the young shoot samples harvested from the first flush at 3-5 leaves stage of the year. After harvesting, the shoots should be exposed to chloroform vapor for about 1 hour without chloroform direct contact in a container that can be sealed, and the degree of leaf color that changes browned should be observed. The observation of color change should be carried out by comparison with example varieties.

Example variety: yabukita (3 weak)

形質 39 カフェイン含量 Char.39 Caffeine content

一番茶の新芽が3～5葉展開した時期に一心三葉部分を採取し、直ちに乾燥(100℃以下)し、分析するまで冷蔵保管する。

分析方法は、高速液体クロマトグラフィーを使用する ISO 10727:1995 「Tea and instant tea in solid form—Caffeine content」による。

The measurement of caffeine content should be made using the “three and a bud” samples harvested from the first flush at 3-5 leaves stage of the year. After harvesting, the shoots should be dried immediately by 100°C or less hot air and storage in refrigerator till they are analyzed.

Method ISO 10727:1995 ‘Tea and instant tea in solid form -- Determination of caffeine content -- Method using high-performance liquid chromatography’ should be used.

absent or very low	≤0.5%
low	0.6-2.0%
medium	2.1-3.5%
high	3.6-5.0%
very high	>5.0%